

第3章 市民の意向

第3章 市民の意向

(1) 安曇野市の土地利用に関するアンケートにみる市民意向

『安曇野市土地利用基本計画』の改定に際して令和5年度に実施したアンケート（安曇野市の土地利用に関するアンケート）*の結果から、道路整備に関する市民の意向を把握した。また、過去の調査で同様の質問をした項目について、経年変化を把握した。

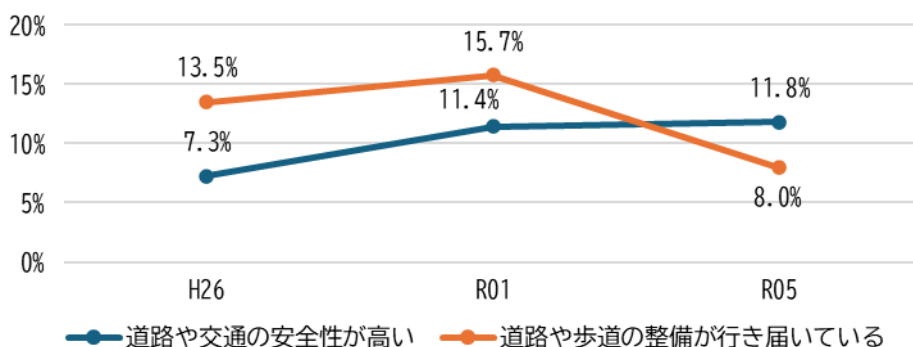
※調査概要

- ・実施期間：令和5（2023）年12月12日～令和6（2024）年1月19日
- ・調査方法：郵送、インターネット（送付状にURL、QRコードを掲載）
- ・調査対象：18歳以上の市民から地域や年代を考慮して無作為に抽出した2,500名
- ・回答数：1,054名
- ・回収率：42.2%

① 現在の居住環境で満足していること

日頃の暮らしで満足されていることでは、「道路や交通の安全性が高い」や「道路や歩道の整備が行き届いている」の回答率は比較的低い。過年度の調査と比較すると、「道路や歩道の整備が行き届いている」に関しては大きく回答率が低下している。

問14	現在の居住環境で満足していること。 ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
2	きれいな景色が見られる	758	71.9
1	水がおいしい・空気がきれい	675	64.0
3	緑が多い	527	50.0
5	日用品の買い物が便利	465	44.1
6	閑静な住環境を維持できている	438	41.6
4	自宅や自宅近くで農作物をつくらることができる	418	39.7
10	公園など子どもの遊び場や憩い場が近くにある	178	16.9
11	防災対策が十分・災害リスクを感じない	126	12.0
7	道路や交通の安全性が高い	124	11.8
12	良好な地域コミュニティが形成されている	117	11.1
9	公共交通（鉄道やバスなど）の便がよい	109	10.3
8	道路や歩道の整備が行き届いている	84	8.0
14	飲食店が充実している	79	7.5
15	空き建物や低未利用地、耕作放棄地等が少ない	60	5.7
13	固定資産税や家賃が安い	43	4.1
17	特に満足していることはない	28	2.7
16	その他	10	0.9
	無回答	25	2.4
	合計	1,054	



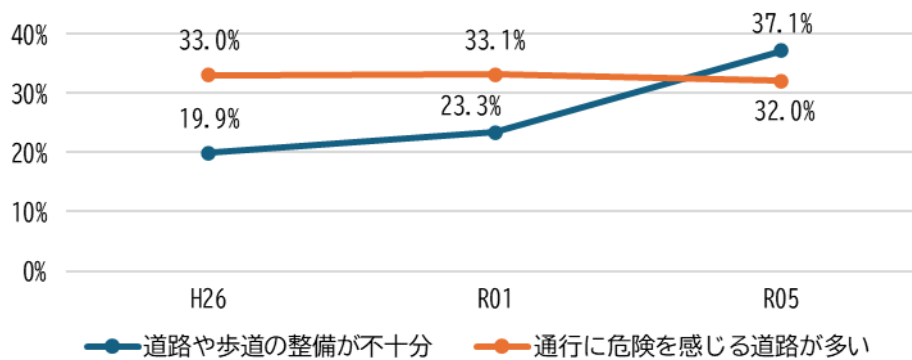
資料：庁内資料

図 3-1 現在の居住環境で満足していること

② 現在の居住環境で不満に感じていること

日頃の暮らしで不満に思うことでは、「道路や歩道の整備が不十分」と「通行に危険を感じる道路が多い」の回答率がそれぞれ2番目、3番目の高さで評価が低い。過年度のアンケートと比較すると、「道路や歩道の整備が不十分」が約14ポイント増加しており、道路整備に対する不満度は増加傾向にある。

問15	現在の居住環境で不満に感じていること。 ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
9	公共交通(鉄道やバスなど)の便が悪い	511	48.5
8	道路や歩道の整備が不十分	391	37.1
7	通行に危険を感じる道路が多い	337	32.0
14	飲食店が少なすぎる	234	22.2
5	日用品の買い物が不便	216	20.5
10	公園など子どもの遊び場や憩える場が近くにない	175	16.6
13	固定資産税や家賃が高い	142	13.5
15	空き建物等が増加し、景観や防災面で不安	132	12.5
12	地域コミュニティが希薄に感じる	123	11.7
16	その他	116	11.0
4	農地や畜舎からの臭いや農薬などが気になる	114	10.8
11	防災対策が不十分・災害リスクを感じる	98	9.3
17	特に不満に感じていることはない	87	8.3
2	周囲の景観と調和しない建物等がある	55	5.2
6	住環境にはふさわしくない用途の建物等があつて不快	44	4.2
1	工場などからの騒音等が気になる	37	3.5
3	緑が少ない	20	1.9
	無回答・無効	48	4.6
	合計	1,054	



資料：庁内資料

図 3-2 現在の居住環境で不満に感じていること

③ 普通自動車の運転免許の保有状況及び運転頻度

9割近くが、「運転免許を保有し、かつ、日常的に運転している」と回答しており、日常の移動手段として、自家用車への依存度が高いことがわかる。

令和元年度と比較し、今回の調査では免許返納率は上昇していないが、今後の高齢化の進行とともに運転免許返納者の比率が高まり、移動手段が公共交通機関やシニアカーや歩行補助車、車いす等の利用にシフトする可能性がある。生産年齢人口を含む人口そのものが減少していくことによって、自家用車による移動（交通量）が中長期的に減少していくことが考えられる。

問19	自動車免許の保有状況と運転頻度 ※複数回答	2019(令和元)年度 (4年前)		R01→R05 (%)	2023(令和5)年度 (今回)	
		回答数	回答率(%) ※R05同順		回答数	回答率(%) ※回答率順
1	運転免許を保有しており、日常的に運転している	1,091	88.4	0.2 ↓	934	88.6
2	運転免許を保有しているが、ほとんど運転しない又は全く運転していない	37	3.0	1.4 ↑	46	4.4
3	運転免許を保有していたが、既に返納した	44	3.6	▲0.5 ↓	32	3.0
4	運転免許を保有していない	56	4.5	▲0.9 ↓	38	3.6
	合計	1,234			1,054	

資料：庁内資料

図 3-3 普通自動車の運転免許の保有状況及び運転頻度

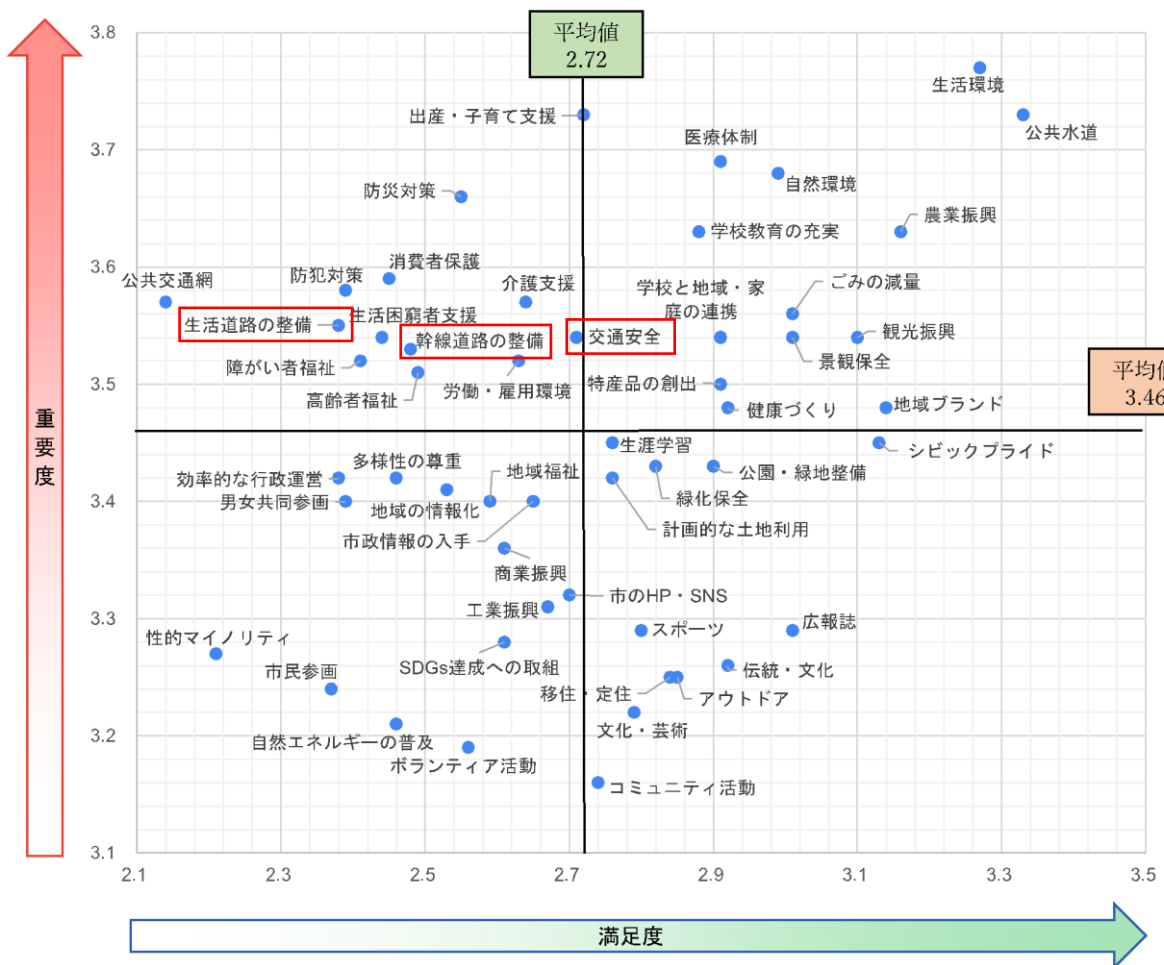
(2) 安曇野市市民意識調査にみる道路整備に対する満足度と重要度

令和6年度に実施した『安曇野市市民意識調査』の結果から、道路整備に関する市民の満足度及び重要度を把握するとともに、過去の調査結果から、当該満足度及び重要度の推移を分析した。

① 満足度及び重要度

安曇野市のさまざまな施策における、それぞれ満足度及び重要度について、得られた回答を得点化し、下図のようなマトリクスに整理した。

道路整備に関する項目である「交通安全」、「幹線道路の整備」及び「生活道路の整備」は、いずれも項目間の平均より重要度は高いが満足度が低い。



資料：令和6年度安曇野市市民意識調査報告書

図 3-4 満足度×重要度マトリクス分析

② 満足度及び重要度の推移

「交通安全」、「幹線道路の整備」及び「生活道路の整備」の満足度及び重要度の令和3～6年度の推移を下表のとおり把握した。

「交通安全」の満足度はおおむね横ばいだが、重要度は低下傾向にある。「幹線道路の整備」、「生活道路の整備」はどちらも同様の傾向であり、満足度は低下傾向にあるが、重要度は上昇傾向にある。

施策	分野	設問内容	満足度の推移	重要度の推移
3-4	交通安全	交通安全の取り組みが行われている	<p>2.80 2.60 R3 R4 R5 R6</p>	<p>3.80 3.40 R3 R4 R5 R6</p>
4-6	幹線道路の整備	国道、県道などの幹線道路が整備されている	<p>2.60 2.40 R3 R4 R5 R6</p>	<p>3.60 3.40 R3 R4 R5 R6</p>
4-6	生活道路の整備	生活道路である市道が整備されている	<p>2.50 2.30 R3 R4 R5 R6</p>	<p>3.60 3.40 R3 R4 R5 R6</p>

資料：安曇野市総合計画審議会令和7年度第1回【資料3】を加工

図 3-5 満足度及び重要度の推移